

令和元年度

# 決算に関する主要な施策の成果説明書



常総地方広域市町村圏事務組合



# 目 次

	頁
1 総 括 .....	1
2 歳 入 .....	4
3 歳 出 .....	8
4 性質別分類一覧表 .....	26
5 地方債現在高 .....	27

- (注) 1 文中及び表中の数値、比率は表示単位未満を四捨五入している。  
2 構成比率は、合計が100.0となるように一部調整した。  
3 各表中の符号の用法は、次のとおりである。  
「0.0」 = 該当数値はあるが、単位未満のもの  
「-」 = 該当数値のないもの

## 1 総括

令和元年度常総地方広域市町村圏事務組合一般会計決算は、収入済額6,276,446,030円、支出済額5,978,660,202円で、翌年度へ繰り越すべき財源は繰越明許費繰越額12,277,000円、実質収支額は285,508,828円となりました。

第1表 歳入決算款別比較表

(単位:円・%)

款	令和元年度 収入済額	収入率	構成比	平成30年度 収入済額	比較	前年度比
1 分担金及び負担金	5,311,853,000	100.0	84.6	5,140,389,000	171,464,000	3.3
2 使用料及び手数料	338,950,264	102.2	5.4	329,150,510	9,799,754	3.0
3 国庫支出金	34,938,000	100.0	0.6	32,322,400	2,615,600	8.1
4 財産収入	1,024,000	97.5	0.0	0	1,024,000	皆増
5 繰越金	397,597,151	100.0	6.3	414,590,189	△ 16,993,038	△ 4.1
6 諸収入	52,983,615	115.0	0.9	129,787,004	△ 76,803,389	△ 59.2
7 組合債	139,100,000	54.7	2.2	79,300,000	59,800,000	75.4
合計	6,276,446,030	98.4	100.0	6,125,539,103	150,906,927	2.5

歳入は第1表のとおり、収入済額は6,276,446,030円、収入率98.4%、前年度と比較して150,906,927円、2.5%の増額となりました。主な内容は以下のとおりです。

1款分担金及び負担金は、市町村負担金で5,311,853,000円収入し、前年度よりも171,464,000円増額。共通分では、歳入の主に国庫支出金、地方債及び繰越金の減により33,428,000円減額、歳出の衛生費で職員1名増、ごみ処理施設運営管理委託料の増額等により65,926,000円増額。消防分では、歳入で車両4台分の購入事業及び消防本部非常電源更新及び水海道署改修事業に係る消防債で186,709,000円増額、歳出で職員5名増、車両購入、消防本部非常電源更新及び水海道署改修事業により244,466,000円増額となりました。

2款使用料及び手数料は、338,950,264円収入し、前年度よりも9,799,754円増額。使用料では、屋外プールの利用者増による増額もありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため屋内施設を臨時休館としたことにより1,696,100円減額となりました。手数料では、一般廃棄物の搬入量が家庭系、事業系ともに前年度よりも増加し、11,495,854円増額となりました。

3款国庫支出金は、34,938,000円収入し、前年度よりも2,615,600円増額。緊急消防援助隊設備整備費補助金を活用し、水槽付消防ポンプ自動車2台を購入したことによる増額です。

4款財産収入は、施設課所管の2トンダンプ及びホイールローダーを売却し、1,024,000円収入しました。

5款繰越金は、397,597,151円収入し、前年度よりも16,993,038円減額です。共通分で39,238,486円減額、消防分で22,245,448円増額となりました。

6款諸収入は、52,983,615円収入し、前年度よりも76,803,389円減額です。主な収入は、容器包装リサイクル協会に係る拠出金、ごみ処理施設の発電余剰電力売電料、指定管理者により運営されている地域交流センターの使用電力相当分及び上下水道使用料相当分等です。前年度比較での減額は、福島第一原子力発電所事故に係る損害賠償金で賠償の対象外となったこと、茨城県立消防学校への職員派遣が終了したこと等によるものです。

7款組合債は、139,100,000円収入し、前年度よりも59,800,000円増額です。消防債で、水槽付消防ポンプ自動車購入事業、消防ポンプ自動車購入事業、高規格救急自動車購入事業について借入れました。土木債は、前年度からの繰越事業である公園駐車場入口改修事業について借入れました。

第2表 歳出決算款別比較表

(単位:円・%)

款	令和元年度 支出済額	執行率	構成比	平成30年度 支出済額	比較	前年度比
1 議会費	768,176	88.3	0.0	766,116	2,060	0.3
2 総務費	140,869,535	95.8	2.4	136,127,417	4,742,118	3.5
3 民生費	5,923,743	99.8	0.1	2,889,321	3,034,422	105.0
4 衛生費	1,842,320,792	97.4	30.8	1,734,152,763	108,168,029	6.2
5 土木費	310,892,441	94.8	5.2	278,682,632	32,209,809	11.6
6 消防費	2,496,003,655	94.0	41.7	2,404,275,731	91,727,924	3.8
7 公債費	1,181,881,860	99.9	19.8	1,171,047,972	10,833,888	0.9
8 予備費	0	-	-	0	0	-
合計	5,978,660,202	93.7	100.0	5,727,941,952	250,718,250	4.4

歳出は第2表のとおり、支出済額は5,978,660,202円、執行率93.7%、前年度と比較して250,718,250円、4.4%の増額となりました。主な事業内容は以下のとおりです。

1款議会費は、768,176円支出し、定例会2回、臨時会2回開催しました。また、最終処分場の現地視察を実施しました。

2款総務費では、140,869,535円支出、前年度と比較して4,742,118円の増額です。

管理者会の開催など組合全体の調整事務事業を行い、組合事業について広報発行及びホームページ管理により圏域住民へ情報発信しました。また、守谷市との土地交換協定書に基づき、管理課事務棟入口の守谷市所有地、987.91㎡を購入しました。

職員共同研修事業においては、関係市及び圏域内一部事務組合職員を対象に階層別研修10課程と特別研修3課程の13課程を実施し、職員の資質及び行政サービス向上のため、人材育成に取り組みました。

地域交流センター事業では、「いこいの郷 常総」について、指定管理者による運営を実施し、月例会議により運営状況をモニタリングしました。

防災センター事業では、防災資機材や飲料水を備蓄し、大規模災害に備え、防災講演会を開催し、住民の防災意識の高揚を図りました。

監査事務では、監査委員より予算が適正に執行されているか分析・評価を受け、健全な財政運営を図るため、月例出納検査、決算監査を実施しました。また、議会合同で最終処分場現地視察を実施しました。

3款民生費では、指定管理者が管理運営する障害者支援施設「常総ふれあいの杜」に係る経費で、5,923,743円を支出、前年度より3,034,422円増額となりました。開設から12年が経過、老朽化によりマルチエアコンに不具合が頻発し、故障箇所を特定するための調査費用、誘導灯の交換等で増額となりました。

4款衛生費では、関係市より搬入されたごみを適正に処理するため1,842,320,792円支出し、前年度と比較して108,168,029円増額となりました。

関係市より搬入された71,084トンのごみを適切に処理し、資源物の回収に努め、熔融スラグ等を適正に処分しました。さらに、国から委託されている指定廃棄物についてはコンクリート製の保管庫に保管し、周辺の放射線量を定期的に測定、適正な管理を継続しています。

5款土木費では、公園施設の維持管理経費として310,892,441円支出し、前年度より32,209,809円増額となりました。

常総ふれあいスポーツセンターをはじめとしたスポーツ施設について、点検・整備及び改修等を実施し、利用者が安全に利用できるよう努めました。また、10月に開催された茨城国体では、当公園の体育館が成年女子ハンドボールの競技会場となり、大会関係団体と円滑な運営に取り組みました。

公園施設は老朽化が著しく、深井戸水中ポンプ等の交換、空調室外機囲いの交換修繕等を実施、また、公共下水道接続により不要となった浄化槽2基の撤去工事、前年度から繰越となった公園入口改修工事を実施するなど、施設の保全に取り組んでおり支出額も増額となっています。

6款消防費では、管内の住民の生命・財産を守るための消防・救急業務に係る経費として2,496,003,655円支出し、前年度と比較して91,727,924円増額となりました。

1本部、3署、5出張所261名体制で消防・救急業務を遂行し、救急救命士の育成及び消防大学校等の各課程の受講による人材育成により、消防・救急業務の質の向上を図りました。また、県内20本部と共同で指令センターを運用し、的確で迅速な消防救急業務を実施しています。さらに、消防車両や消防庁舎の維持管理に努め、老朽化した水槽付消防ポンプ自動車2台、消防ポンプ自動車1台、高規格救急自動車1台及び広報自動車2台を更新しました。

支出額の増額理由は、5月に発生した常総市坂手町廃材置場火災に係る時間外、休日勤務手当等人件費、消防活動で汚損・破損した防火衣や消防ホース等の購入費、並びに、車両6台の更新によるものです。

7款公債費では、ごみ処理施設をはじめ、組合各施設の整備事業に係る組合債の償還として1,181,881,860円支出し、前年度と比較して10,833,888円増額となりました。

増額の主な理由は、平成28年度借入の谷和原出張所配備の水槽付消防ポンプ自動車購入事業に係る元金償還開始によるものです。

当初予算額と比較した増減の内容は以下のとおりです。

#### 歳入 60,339,030円収入増

・使用料及び手数料で、7,300,264円増額。新型コロナウイルス感染症拡大防止による施設の休館で、土木使用料で2,278,390円減額となりましたが、衛生手数料の一般廃棄物の搬入量が予定よりも多く、手数料で9,594,454円増額となりました。

・繰越金184,597,151円増額。

・諸収入で、6,899,615円増額。容器包装リサイクル協会からペットボトルの再商品化に伴う有償入札分等の拠出金で10,016,230円が増額となりました。

・組合債で、160,100,000円減額。消防本部非常電源更新及び水海道消防署改修事業を次年度に繰越したことにより、消防債が減額となりました。一方で、前年度から繰越事業となりました公園入口改修事業に係る土木債で16,200,000円増額となりました。

#### 歳出 237,446,798円執行残

・民生費で、2,631,743円増額。経年劣化によるマルチエアコンの不具合により故障箇所を特定する調査費用により増額となりました。

・衛生費で、49,439,208円の執行残。主に環境センター運営管理委託料では金属類の売却単価が高く推移したこと及び処分委託料では予定よりも搬出量が少なかったことにより委託料32,182,338円、電気料金が入札で減額したこと等により需用費で15,307,853円の執行残となりました。

・消防費で、159,140,345円執行残。常総市坂手町廃材置場火災に係る資器材の購入により消防総務費の備品購入費で9,044,197円、経年劣化によるエアコンの緊急修繕により消防施設費の需用費で5,402,525円支出増となりましたが、いばらき消防指令センター運営協議会負担金の引下げ等で消防総務費の負担金補助及び交付金で9,277,873円執行残となりました。また、消防施設費で、消防本部非常電源更新及び水海道消防署改修事業を次年度に繰越し、127,677,000円が翌年度繰越額となりました。

・予備費24,500,000円執行残。

2 歳入

款	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
1 分担金及び負担金 (決算書P3)	5,311,853,000円	令和元年度における市町村負担金の歳入全体に占める割合は、84.6%であります。

市町別負担金内訳表

(単位:千円)

区分	常総市	取手市	守谷市	つくばみらい市	龍ヶ崎市	牛久市	つくば市 (旧茎崎分)	利根町	合計
議会費	178	295	196	153	-	-	-	-	822
総務費	25,463	43,842	28,985	22,692	1,287	1,406	467	343	124,485
民生費	1,350	880	469	587	-	-	-	-	3,286
衛生費	229,084	595,627	371,668	268,770	-	-	-	-	1,465,149
土木費	41,065	103,277	68,114	53,223	-	-	-	-	265,679
消防費	672,656	-	952,010	797,376	-	-	-	-	2,422,042
公債費	171,095	389,938	255,395	203,089	-	-	-	-	1,019,517
予備費	2,358	3,907	2,584	2,024	-	-	-	-	10,873
合 計	1,143,249	1,137,766	1,679,421	1,347,914	1,287	1,406	467	343	5,311,853
前年度	1,119,208	1,098,200	1,615,887	1,303,634	1,275	1,387	457	341	5,140,389
比 較	24,041	39,566	63,534	44,280	12	19	10	2	171,464

市町村負担金負担割合

款 別	負 担 割 合
議 会 費	均 等 割 10% 人 口 割 90%
総務費	経 常 分 均 等 割 10% 人 口 割 90%
	交流センター分 均 等 割 10% 人 口 割 90%
	防災センター分 均 等 割 10% 人 口 割 90%
民 生 費	入 所 者 数 割 100%
衛 生 費	均 等 割 10% 実績割(処理量) 90%
土 木 費	均 等 割 10% 人 口 割 90%
消 防 費	均 等 割 10% 人 口 割 60%
	署 員 数 割 30%
公債費	障害者施設分を除く 均 等 割 10% 人 口 割 90%
	障害者施設分 入 所 者 数 割 100%
予 備 費	均 等 割 10% 人 口 割 90%

注) 総務費交流センター分、土木費、消防費、公債費の障害者施設分を除く分の人口割の算定基礎となる常総市の人口は旧水海道市分であります。

款	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果					
		負担金算出基礎 ①構成市町人口 【平成30年10月1日現在】					
		区 分	人口(人)				
		常 総 市	60,336				
		(旧水海道市)	(37,449)				
		取 手 市	105,129				
		守 谷 市	66,876				
		つくばみらい市	50,675				
		小 計	283,016				
		龍ヶ崎市	77,078				
		牛久市	84,785				
		つくば市 (旧茎崎町分)	23,656				
		利根町	15,632				
		合 計	484,167				
		②障害者支援施設入所者数 【平成30年10月1日現在】					
		区 分	入所者数	構成比			
		常 総 市	23	41.1%			
		取 手 市	15	26.8%			
		守 谷 市	8	14.3%			
		つくばみらい市	10	17.9%			
		合 計	56	100.1%			
		③平成29年度常総環境センター廃棄物処理状況 【単位:上段はトン、下段カッコ書きは%】					
区 分	処理量	左 の 内 訳					
		資源物	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	有害ごみ	生ごみ
常 総 市 (旧水海道市)	10,184 (14.6)	647 (6.4)	7,956 (78.1)	1,356 (13.3)	178 (1.7)	6 (0.1)	41 (0.5)
取 手 市	29,580 (42.4)	2,038 (6.9)	22,968 (77.6)	3,545 (12.0)	747 (2.5)	29 (0.1)	253 (0.8)
守 谷 市	17,729 (25.4)	1,037 (5.8)	13,371 (75.4)	2,293 (12.9)	499 (2.8)	15 (0.1)	514 (2.8)
つくばみらい市	12,284 (17.6)	784 (6.4)	9,294 (75.7)	1,742 (14.2)	258 (2.1)	16 (0.1)	190 (1.5)
合 計	69,777 (100.0)	4,506 (6.5)	53,589 (76.8)	8,936 (12.8)	1,682 (2.4)	66 (0.1)	998 (1.4)
※ 稼働日数		焼却施設:358日 資源化施設:257日 堆肥化施設:(守谷)257日、(取手)257日					
		④消防職員数 【平成30年10月1日現在】					
		区 分	署員数	構成比			
		常 総 市	68	33.2%			
		守 谷 市	69	33.6%			
		つくばみらい市	68	33.2%			
		合 計	205	100.0%			



款	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果																																																																																																														
2 使用料 及 び 手数料 (決算書P3)	338,950,264円  使用料 29,783,810円  手数料 309,166,454円	<p>使用料及び手数料は、338,950,264円で前年度と比較して9,799,754円、3.0%の増収となりました。</p> <p>使用料は、29,783,810円で前年度と比較して、1,696,100円、5.4%の減収となりました。主な内容は、衛生使用料で行政財産使用料が、自動販売機設置使用料の270,000円で、前年度は電柱等敷地使用料を収入したため、18,000円の減額となりました。また、土木使用料は26,929,610円の収入で、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、屋内施設の休場期間があり、前年度と比較して1,699,750円、5.9%の減額となりました。</p> <p>手数料収入は、309,166,454円で前年度と比較し11,495,854円、3.9%の増額となりました。内容は、衛生手数料の一般廃棄物処理量で家庭系が184.3トン、事業系が309.01トン増加したことにより、307,580,204円の収入で、前年度と比較して12,285,354円、4.2%の増収となりました。また、消防手数料では、取扱件数が前年度と比較し67件減少、1,586,250円で、33.2%の減収となりました。</p> <p style="text-align: center;">行政財産使用料</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>収入済額</th> <th>前年度実績</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務</td> <td>70,000円</td> <td>70,000円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>衛生</td> <td>270,000円</td> <td>288,000円</td> <td>△ 18,000円</td> </tr> <tr> <td>土木</td> <td>182,460円</td> <td>196,860円</td> <td>△ 14,400円</td> </tr> <tr> <td>消防</td> <td>2,360,500円</td> <td>2,333,500円</td> <td>27,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,882,960円</td> <td>2,888,360円</td> <td>△ 5,400円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">使用料実績一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用施設名</th> <th>有料利用者数 又は有料時間数</th> <th>収入済額</th> <th>前年度実績</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務 使用料</td> <td>防災センター 会議室・和室</td> <td>2,877人 (減免109人) 449件 (減免5件)</td> <td>153,700円</td> <td>159,050円</td> <td>△ 5,350円</td> </tr> <tr> <td rowspan="13">土木 使用料</td> <td>室内温水 プー ル</td> <td>68,818人 (減免14,936人)</td> <td>13,552,600円</td> <td>16,160,800円</td> <td>△ 2,608,200円</td> </tr> <tr> <td>屋外プール</td> <td>14,317人 (減免417人)</td> <td>3,925,000円</td> <td>2,444,800円</td> <td>1,480,200円</td> </tr> <tr> <td>テニスコート</td> <td>21,976人 (減免4,078人)</td> <td>3,288,800円</td> <td>3,388,200円</td> <td>△ 99,400円</td> </tr> <tr> <td>総合体育館</td> <td>39,891人 (減免25,619人)</td> <td>1,326,500円</td> <td>1,726,500円</td> <td>△ 400,000円</td> </tr> <tr> <td>自由広場</td> <td>32,335人 (減免12,722人)</td> <td>2,181,000円</td> <td>2,114,600円</td> <td>66,400円</td> </tr> <tr> <td>野球場</td> <td>6,600人 (減免5,809人)</td> <td>458,000円</td> <td>710,000円</td> <td>△ 252,000円</td> </tr> <tr> <td>陸上競技場</td> <td>4,159人 (減免4,942人)</td> <td>62,150円</td> <td>58,150円</td> <td>4,000円</td> </tr> <tr> <td>多目的広場</td> <td>2,119人 (減免1,295人)</td> <td>14,250円</td> <td>18,500円</td> <td>△ 4,250円</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>5,123人 (減免550人)</td> <td>46,600円</td> <td>12,200円</td> <td>34,400円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">夜間 照 明</td> <td>テニスコート</td> <td>3,275時間</td> <td>1,323,500円</td> <td>1,233,000円</td> <td>90,500円</td> </tr> <tr> <td>野球場</td> <td>64時間</td> <td>69,750円</td> <td>109,500円</td> <td>△ 39,750円</td> </tr> <tr> <td>自由広場</td> <td>1,411時間</td> <td>355,000円</td> <td>258,250円</td> <td>96,750円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>体育館冷房</td> <td>44時間</td> <td>144,000円</td> <td>198,000円</td> <td>△ 54,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合 計</td> <td></td> <td>26,747,150円</td> <td>28,432,500円</td> <td>△ 1,685,350円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	収入済額	前年度実績	増 減	総務	70,000円	70,000円	0円	衛生	270,000円	288,000円	△ 18,000円	土木	182,460円	196,860円	△ 14,400円	消防	2,360,500円	2,333,500円	27,000円	計	2,882,960円	2,888,360円	△ 5,400円	区分	利用施設名	有料利用者数 又は有料時間数	収入済額	前年度実績	増 減	総務 使用料	防災センター 会議室・和室	2,877人 (減免109人) 449件 (減免5件)	153,700円	159,050円	△ 5,350円	土木 使用料	室内温水 プー ル	68,818人 (減免14,936人)	13,552,600円	16,160,800円	△ 2,608,200円	屋外プール	14,317人 (減免417人)	3,925,000円	2,444,800円	1,480,200円	テニスコート	21,976人 (減免4,078人)	3,288,800円	3,388,200円	△ 99,400円	総合体育館	39,891人 (減免25,619人)	1,326,500円	1,726,500円	△ 400,000円	自由広場	32,335人 (減免12,722人)	2,181,000円	2,114,600円	66,400円	野球場	6,600人 (減免5,809人)	458,000円	710,000円	△ 252,000円	陸上競技場	4,159人 (減免4,942人)	62,150円	58,150円	4,000円	多目的広場	2,119人 (減免1,295人)	14,250円	18,500円	△ 4,250円	会議室	5,123人 (減免550人)	46,600円	12,200円	34,400円	夜間 照 明	テニスコート	3,275時間	1,323,500円	1,233,000円	90,500円	野球場	64時間	69,750円	109,500円	△ 39,750円	自由広場	1,411時間	355,000円	258,250円	96,750円		体育館冷房	44時間	144,000円	198,000円	△ 54,000円		合 計		26,747,150円	28,432,500円	△ 1,685,350円
区分	収入済額	前年度実績	増 減																																																																																																													
総務	70,000円	70,000円	0円																																																																																																													
衛生	270,000円	288,000円	△ 18,000円																																																																																																													
土木	182,460円	196,860円	△ 14,400円																																																																																																													
消防	2,360,500円	2,333,500円	27,000円																																																																																																													
計	2,882,960円	2,888,360円	△ 5,400円																																																																																																													
区分	利用施設名	有料利用者数 又は有料時間数	収入済額	前年度実績	増 減																																																																																																											
総務 使用料	防災センター 会議室・和室	2,877人 (減免109人) 449件 (減免5件)	153,700円	159,050円	△ 5,350円																																																																																																											
土木 使用料	室内温水 プー ル	68,818人 (減免14,936人)	13,552,600円	16,160,800円	△ 2,608,200円																																																																																																											
	屋外プール	14,317人 (減免417人)	3,925,000円	2,444,800円	1,480,200円																																																																																																											
	テニスコート	21,976人 (減免4,078人)	3,288,800円	3,388,200円	△ 99,400円																																																																																																											
	総合体育館	39,891人 (減免25,619人)	1,326,500円	1,726,500円	△ 400,000円																																																																																																											
	自由広場	32,335人 (減免12,722人)	2,181,000円	2,114,600円	66,400円																																																																																																											
	野球場	6,600人 (減免5,809人)	458,000円	710,000円	△ 252,000円																																																																																																											
	陸上競技場	4,159人 (減免4,942人)	62,150円	58,150円	4,000円																																																																																																											
	多目的広場	2,119人 (減免1,295人)	14,250円	18,500円	△ 4,250円																																																																																																											
	会議室	5,123人 (減免550人)	46,600円	12,200円	34,400円																																																																																																											
	夜間 照 明	テニスコート	3,275時間	1,323,500円	1,233,000円	90,500円																																																																																																										
		野球場	64時間	69,750円	109,500円	△ 39,750円																																																																																																										
		自由広場	1,411時間	355,000円	258,250円	96,750円																																																																																																										
		体育館冷房	44時間	144,000円	198,000円	△ 54,000円																																																																																																										
	合 計		26,747,150円	28,432,500円	△ 1,685,350円																																																																																																											


款	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果																												
	手 数 料 実 績 一 覧 表																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">手 数 料 名</th> <th>処理量・件数</th> <th>収入済額</th> <th>前年度実績</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">衛生 手数料</td> <td>一般家庭系</td> <td>1,191.94トン</td> <td>18,667,564円</td> <td>15,646,994円</td> <td>3,020,570円</td> </tr> <tr> <td>廃棄物事業系</td> <td>13,255.03トン</td> <td>288,912,640円</td> <td>279,647,856円</td> <td>9,264,784円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>14,446.97トン</td> <td>307,580,204円</td> <td>295,294,850円</td> <td>12,285,354円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">消 防 手 数 料</td> <td>80件</td> <td>1,586,250円</td> <td>2,375,750円</td> <td>△ 789,500円</td> </tr> </tbody> </table>	手 数 料 名		処理量・件数	収入済額	前年度実績	増 減	衛生 手数料	一般家庭系	1,191.94トン	18,667,564円	15,646,994円	3,020,570円	廃棄物事業系	13,255.03トン	288,912,640円	279,647,856円	9,264,784円	合 計	14,446.97トン	307,580,204円	295,294,850円	12,285,354円	消 防 手 数 料		80件	1,586,250円	2,375,750円	△ 789,500円	
手 数 料 名		処理量・件数	収入済額	前年度実績	増 減																									
衛生 手数料	一般家庭系	1,191.94トン	18,667,564円	15,646,994円	3,020,570円																									
	廃棄物事業系	13,255.03トン	288,912,640円	279,647,856円	9,264,784円																									
	合 計	14,446.97トン	307,580,204円	295,294,850円	12,285,354円																									
消 防 手 数 料		80件	1,586,250円	2,375,750円	△ 789,500円																									
3 国 庫 支 出 金 (決算書P5)	34,938,000円 衛生費国庫補助金 1,188,000円 消防費国庫補助金 33,750,000円	環境センター関係で、福島第一原発事故に伴う、排ガス等に含まれる放射性物質濃度検査費用に対する廃棄物処理施設モニタリング事業費補助金1,188,000円であります。 消防関係で、水槽付消防ポンプ自動車2台の更新に対する緊急消防援助隊設備整備費補助金33,750,000円であります。																												
4 財産収入 (決算書P5)	1,024,000円	運動公園の整備用車両として使用していた2tダンプ及びホイールローダー更新に伴い売払い、1,024,000円の収入がありました。																												
5 繰越金 (決算書P5)	397,597,151円	共通分が330,803,637円、消防分が66,793,514円であります。 歳入の主な内容は、前年度繰越金180,590,189円増額。諸収入では、福島第一原発事故に伴う廃棄物処理事業損害賠償金70,940,231円増額等であります。 歳出の主な内容は、衛生費で、需用費の電気料金が入札による単価減、委託料で、金属類の売却単価が高額で推移したこと及び溶融スラグ等が搬出量の減少などにより91,681,237円の執行残であります。また、土木費で、年度内の2名の普通退職者、温水プール塗装工事の未執行及び長寿命化計画見直し策定業務委託の入札差金等により13,256,368円の執行残であります。さらに、消防費で、死亡退職者1名、休職者1名、停職者1名及び各手当の支給減等の人件費の執行残及びいばらき消防指令センター運営協議会負担金の引き下げなどにより14,255,269円の執行残であります。予備費では23,000,000円の残額であります。																												
6 諸 収 入 (決算書P5)	52,983,615円	諸収入は、前年度と比較すると76,803,389円、59.2%の減収となりました。収入の主な内訳は、環境センター分で、容器包装リサイクル協会に係る拠出金23,456,230円、発電余剰電力売電料で8,425,618円等32,461,759円の収入がありました。 地域交流センター分では、指定管理者電気・上下水道使用料11,191,566円の収入がありました。 消防分では、高速道路救急業務支弁金3,516,615円、いばらき消防指令センター派遣職員手当相当分3,945,108円等、総額8,890,957円の収入がありました。																												
7 組 合 債 (決算書P7)	139,100,000円 土木債 16,200,000円 消防債 122,900,000円	公園駐車場入口改修事業債 16,200,000円 (茨城県市町村振興資金貸付 充当率100%) 水槽付消防ポンプ自動車購入事業 66,600,000円 (絹西出張所・北出張所配備) (一般補助施設整備事業債 充当率90%) (一般事業債 消防・防災施設整備事業債 充当率90%) 消防ポンプ自動車購入事業債(守谷消防署配備) 28,700,000円 (施設整備事業債 充当率100%) (一般事業債 消防・防災施設整備事業債 充当率90%) 高規格救急自動車購入事業債(絹西出張所配備) 27,600,000円 (施設整備事業債 充当率100%) (一般事業債 消防・防災施設整備事業債 充当率90%)																												

3 歳出

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果														
<p>1 議会費 (決算書P9)</p>	<p>768,176円</p>	<p>議会                      ・定例会 2回開催                      ・臨時会 2回開催                      ・現地視察1回(7/16実施)</p>	<p>組合事務事業に関する決算・予算、条例の制定・改正など慎重に審議し、円滑な議会運営に努めました。                      7月の第1回臨時会では、組合議会議長を選挙し、消防車両の財産の取得について議決しました。                      12月の第2回臨時会では、任期付職員の採用等に関する条例、会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例、使用料等における受益者負担のあり方に関する基本方針に基づき、施設使用料を改正する常総運動公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例、県南総合防災センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を議決しました。                      また、7月16日に最終処分場の現状を把握するため、議会、管理者会及び監査委員合同で、(株)イバラキ最終処分場(下妻市)、エコフロンティアかさま最終処分場(笠間市)の2箇所を視察しました。</p>														
<p>2 総務費 (決算書P9)</p>	<p>140,869,535円</p>	<p>管理者会                      ・4回開催                      ・現地視察1回(7/16実施)</p> <p>広報紙「じょうそう」発行                      ・62号(6/9発行)                      ・63号(11/17発行)                      印刷各77,800部                      支出額 1,394,285円</p> <p>ホームページ管理                      支出額 133,584円</p> <p>修繕料                      支出額 2,706,480円</p> <p>職員研修                      支出額 4,144,175円</p>	<p>組合事業の最終意思決定機関として、予算、決算、長期事業計画、財源計画、消防力適正配置検討委員会答申に伴う事務事業計画等、各種事業の協議を行いました。                      また、7月16日に最終処分場の現状を把握するため、管理者会、議会及び監査委員合同で、(株)イバラキ最終処分場(下妻市)、エコフロンティアかさま最終処分場(笠間市)の2箇所を視察しました。</p> <p>新聞折込により、圏域内世帯に広報紙を配布し、茨城ゆめ国体のお知らせ、環境センターふれあいデー開催のお知らせ、環境測定の結果や地域交流センターの利用促進に向けたPR等、組合が運営する事業についてお知らせしました。</p> <p>組合ホームページ上で、地域交流センター「いこいの郷 常総」の利用案内、常総環境センターの運転状況や常総運動公園の行事予定等、組合事業に関する最新情報を発信しました。アクセス件数は34,166件で、前年度と比較して、2,131件、6.7%増加しました。</p> <p>老朽化した組合事務棟の適正管理及び備品の動作不良改善のため修繕を行いました。</p> <table border="0" data-bbox="810 1456 1476 1680"> <tr> <td>庁舎修繕</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事務棟エアコン交換修繕</td> <td>1,620,000円</td> </tr> <tr> <td>事務棟照明器具交換修繕</td> <td>540,000円</td> </tr> <tr> <td>事務棟出入口門扉修繕</td> <td>341,000円</td> </tr> <tr> <td>事務棟1階トイレ修繕 他3件</td> <td>180,620円</td> </tr> <tr> <td>備品修繕</td> <td></td> </tr> <tr> <td>湯沸器修繕 他1件</td> <td>24,860円</td> </tr> </table> <p>組合関係自治体の職員766名が新採から課長までの各階層別10課程、特別研修3課程の研修を実施し、各職務における基礎的知識等の習得及び創造力や職務遂行能力を養いました。</p>	庁舎修繕		事務棟エアコン交換修繕	1,620,000円	事務棟照明器具交換修繕	540,000円	事務棟出入口門扉修繕	341,000円	事務棟1階トイレ修繕 他3件	180,620円	備品修繕		湯沸器修繕 他1件	24,860円
庁舎修繕																	
事務棟エアコン交換修繕	1,620,000円																
事務棟照明器具交換修繕	540,000円																
事務棟出入口門扉修繕	341,000円																
事務棟1階トイレ修繕 他3件	180,620円																
備品修繕																	
湯沸器修繕 他1件	24,860円																




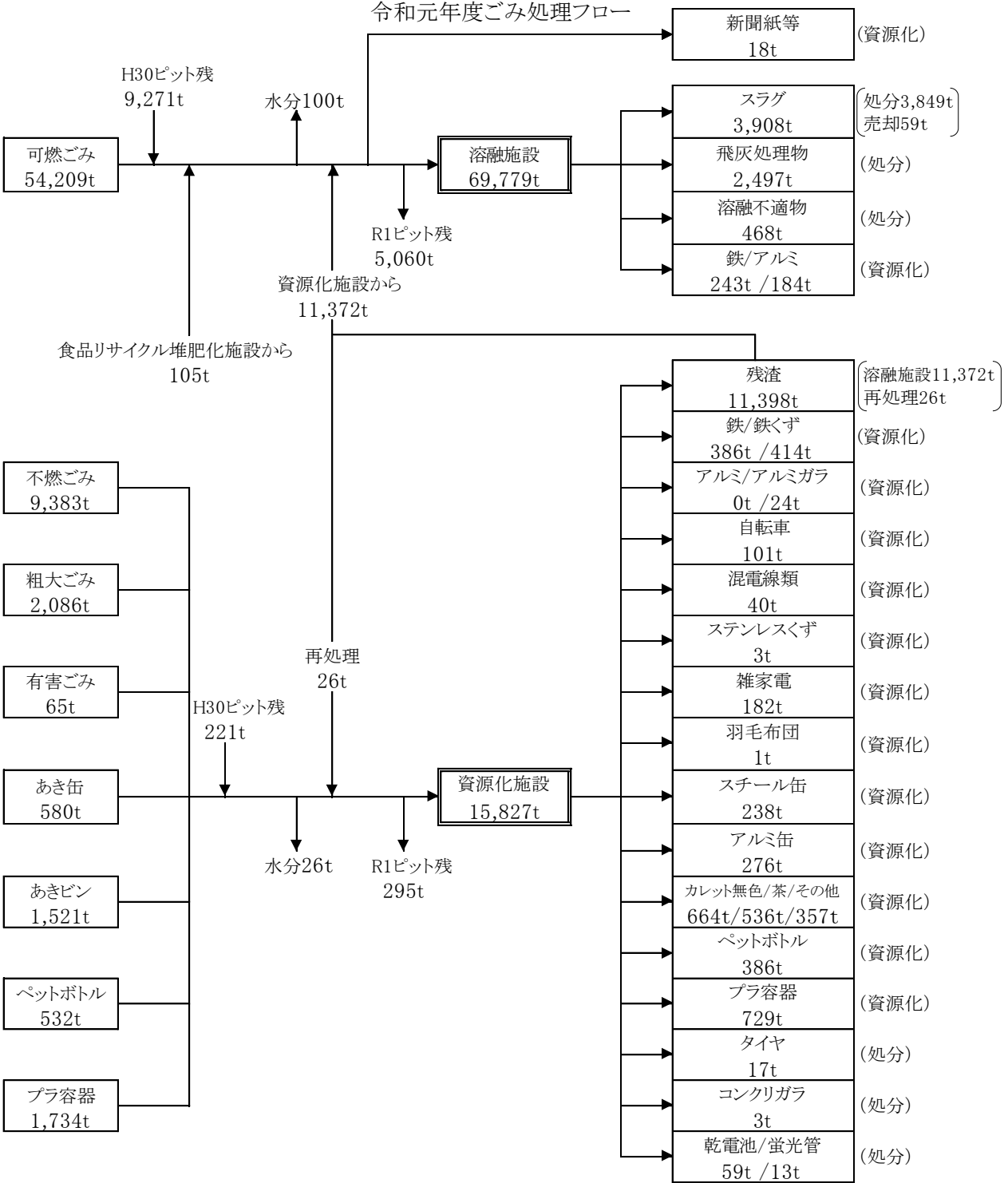
款	決算額	事業概要	主要な施策の成果				
		<p>地域交流センター「いこいの郷 常総」            支出額 22,519,510円  <b>【雑入】</b> 11,191,566円  <b>【一財】</b> 11,327,944円            ・指定管理者による管理運営            開館日数:331日            新型コロナウイルスの影響による臨時休館:7日間</p>	<p>地域交流センター「いこいの郷 常総」は、オープンから8年目となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける2月までの総利用者数は前年度比1.4%増であったが、感染症拡大防止対策として一部施設の利用停止や、後の全休館を実施したことで、それぞれ2月から3月にかけて、温浴施設は2.6%増から1.9%減に、健康増進室が4.5%減から11.4%減の落ち込みがあり、年間総利用者数は前年度より5,125人減の120,318人となりました。各施設の利用状況は、年間開館日数は331日（うち3/4～3/24までは感染症拡大防止対策により健康増進室は閉鎖）で、宿泊施設利用者数は8,079人、温浴施設利用者数が78,005人、健康増進施設利用者数が25,897人、多目的ホールが6,279人、地域交流スペースが2,058人の利用がありました。</p> <p>地域交流センターは、指定管理者により運営・管理しているため、電気料金2,189,872円及び上下水道料金9,001,694円の計11,191,566円を指定管理者使用料相当分として、雑入で収入しました。実質的な組合負担分は、指定管理料9,500,000円を含んだ、施設修繕料、保険料など全体で11,327,944円であります。</p>				
		<p>・修繕料            支出額 1,185,800円</p> <p>防災センター            支出額 7,302,736円  <b>【使用料】</b> 153,700円  <b>【一財】</b> 7,149,036円            開館日数:284日            新型コロナウイルスの影響による臨時休館:24日</p>	<p>経年により老朽化した施設の修繕を行い、施設の安全と快適な利用環境の提供に努めました。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>多目的ホール床修繕</td> <td style="text-align: right;">723,800円</td> </tr> <tr> <td>昇温用循環ポンプ交換修繕</td> <td style="text-align: right;">462,000円</td> </tr> </table> <p>新型コロナウイルスの影響により、平成30年度より開館日数が24日間少ないにもかかわらず、平常時の団体利用件数は年間454件で前年度より22件増加、個人利用を含めた総利用人数は3,568人で前年度より305人増加しました。うち、見学者は団体で5件115人、個人で576人でした。また、小学5年生を対象とした防災ポスター展を開催し、171点の作品が寄せられました。</p>	多目的ホール床修繕	723,800円	昇温用循環ポンプ交換修繕	462,000円
多目的ホール床修繕	723,800円						
昇温用循環ポンプ交換修繕	462,000円						
		<p>・備蓄品整備            支出額 1,338,768円</p>	<p>備蓄計画に基づく飲料水の備蓄として、消費期限5年の20入ペットボトルを5,250本、500mlペットボトル7,008本を購入し、元年度末の備蓄量は、20入ペットボトル22,542本、500mlペットボトル30,024本、計60,096本になりました。</p>				

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果
		・防災講演会 支出額 33,411円 	国立研究開発法人防災科学技術研究所の李泰榮氏を講師として、令和2年1月30日に「災害リスクと地域協働の防災活動」と題し、防災講演会を開催しました。各市の自主防災組織関係者など71名の参加者があり、地域防災活動の大切さを学びました。
		修繕料 支出額 1,031,935円	老朽化した防災センターの適正管理及び備蓄品の動作不良改善のため修繕を行いました。 施設修繕 ガラスフィルム張替修繕 582,780円 案内誘導標識修繕 154,000円 ダクト用鳩小屋屋根修繕 他2件 195,660円 備品修繕 発電機修繕 他1件 99,495円
		監査 支出額 195,060円 ・月例出納検査12回 ・決算監査1回 ・決算議会1回 ・現地視察1回(7/16実施)	組合財産全般に関して、その予算執行状況等を監査するため月例出納検査、決算監査を行い、予算が適正に執行されているか分析・評価し、健全な財政運営が図られるよう指導しました。 また、7月16日に最終処分場の現状を把握するため、監査委員、管理者会及び議会合同で、(株)イバラキ最終処分場(下妻市)、エコフロンティアかさま最終処分場(笠間市)の2箇所を視察しました。

職員共同研修受講状況一覧表 (単位:人)

研修名	対象者	実施日	常総市	取手市	守谷市	MAKUSHI	坂東市	管内一部事務組合	合計
新規採用職員前期課程研修	採用後1年未満職員	4/10～12、4/17～19 4/24～26	15	33	32	35	14	1	130
新規採用職員後期課程研修	前期課程受講職員	1/15～17、1/22～24 1/29～31	15	31	32	31	14	1	124
第一部職員課程研修	採用後2年～5年の職員	10/17～18 10/24～25 10/23～29 10/31～11/1	20	25	13	17	24	4	103
第二部職員課程研修	採用後6年～10年の職員	11/7～8、11/11～12 11/14～15	11	20	11	10	17	0	69
第三部職員課程研修	採用後10年以上の非役付職員	11/18～19	13	1	0	7	0	5	26
監督者第一部課程研修	新任係長級職員	7/1～2、7/4～5	11	35	8	7	0	2	63
監督者第二部課程研修	係長昇任後3年以上の職員	7/18～19 7/25～26	21	9	10	9	2	3	54
新任課長補佐研修	新任課長補佐級職員	5/16～17、5/20～21	7	18	9	13	12	2	61
現任課長補佐研修	課長補佐昇任後3年以上の職員	7/8～9、7/11～12	15	12	2	4	2	0	35
新任課長研修	新任課長級研修	5/9～10、5/13～14	4	16	4	7	13	1	45
窓口クレーム対応研修	推薦職員	5/23～24	2	3	4	5	4	2	20
発想力開発課程研修	推薦職員	11/21～22	2	3	4	4	3	2	18
タイムマネジメント研修	推薦職員	11/25	3	2	4	5	2	2	18
合	計		139	208	133	154	107	25	766
30	年	度	実	績					
			124	223	113	137	142	14	753

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果																																							
		<p>地域交流センター施設別利用者数一覧表 (単位:人)</p> <table border="1" data-bbox="628 235 1018 573"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温浴施設</td> <td>78,005</td> </tr> <tr> <td>宿泊施設</td> <td>8,079</td> </tr> <tr> <td>健康増進施設</td> <td>25,897</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td>6,279</td> </tr> <tr> <td>地域交流スペース</td> <td>2,058</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>120,318</td> </tr> <tr> <td>30年度実績</td> <td>125,443</td> </tr> </tbody> </table> <p>県南総合防災センター利用実績一覧表</p> <table border="1" data-bbox="628 640 1278 857"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">団体利用</th> <th>個人利用</th> <th rowspan="2">人数合計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>人数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>元年度</td> <td>454件</td> <td>2,992人</td> <td>576人</td> <td>3,568人</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>432件</td> <td>2,600人</td> <td>663人</td> <td>3,263人</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>5.1%</td> <td>15.1%</td> <td>△ 13.1%</td> <td>9.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※有料利用件数444件 収入額153,700円 ※団体利用件数は、各施設の利用件数の合計とした。</p>	施設名	利用者数	温浴施設	78,005	宿泊施設	8,079	健康増進施設	25,897	多目的ホール	6,279	地域交流スペース	2,058	合計	120,318	30年度実績	125,443	区分	団体利用		個人利用	人数合計	件数	人数	人数	元年度	454件	2,992人	576人	3,568人	30年度	432件	2,600人	663人	3,263人	前年度比	5.1%	15.1%	△ 13.1%	9.3%	
施設名	利用者数																																									
温浴施設	78,005																																									
宿泊施設	8,079																																									
健康増進施設	25,897																																									
多目的ホール	6,279																																									
地域交流スペース	2,058																																									
合計	120,318																																									
30年度実績	125,443																																									
区分	団体利用		個人利用	人数合計																																						
	件数	人数	人数																																							
元年度	454件	2,992人	576人	3,568人																																						
30年度	432件	2,600人	663人	3,263人																																						
前年度比	5.1%	15.1%	△ 13.1%	9.3%																																						
<p>3 民生費 (決算書P15)</p>	<p>5,923,743円</p>	<p>障害者支援施設 「常総ふれあいの杜」 支出額 5,923,743円 ・指定管理者による管理運営</p>  <p>・修繕料 支出額 2,999,700円</p>	<p>障害者支援施設「常総ふれあいの杜」は、常時介護を必要とする身体障害者・知的障害者が入所しながら機能訓練、創作活動及び生産活動を行う、住まいの場と日中活動の場を併せ持つ入所施設で、指定管理者により運営管理を実施しており、入所者の皆様が安心して快適な入所生活ができるよう管理運営に努めました。入所定員の56人が入所し、定員4人のショートステイでは利用可能延べ日数1,464日に対して、延べ利用日数が977日(延べ利用件数311件)ありました。稼働率は平成30年度の74.2%より7.5%減の66.7%となり、ショートステイを多く利用していた方々が年度中に入所されたことにより減少したものです。</p> <p>また、生活介護では、入所者と通所者を合わせ延べ16,940人が利用し、自立するための様々な生活訓練を受けました。</p> <p>関係市、指定管理者及び組合と連携を図るため、隔月で障害者支援施設担当者会議を開催し、入所者の状況、事業活動収支報告等を行いました。</p> <p>組合の負担は、障害者入所判定委員会の委員報酬、施設修繕料、障害者支援施設に係る保険料等5,923,743円でありました。</p> <p>経年により老朽化した施設の修繕を行い、入所者・利用者の安全と快適な生活環境の提供に努めました。</p> <table border="1" data-bbox="837 1709 1430 1778"> <tbody> <tr> <td>誘導灯等交換修繕</td> <td>2,739,000円</td> </tr> <tr> <td>フェンス修繕</td> <td>260,700円</td> </tr> </tbody> </table> <p>障害者入所状況(令和2年3月現在)</p> <table border="1" data-bbox="671 1843 1430 2074"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>身体障害</th> <th>知的障害</th> <th>身体・知的</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常総市</td> <td>4人</td> <td>11人</td> <td>8人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>取手市</td> <td>2人</td> <td>12人</td> <td>0人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>守谷市</td> <td>2人</td> <td>5人</td> <td>2人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>つくばみらい市</td> <td>1人</td> <td>8人</td> <td>1人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9人</td> <td>36人</td> <td>11人</td> <td>56人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※入所待機者は44名</p>	誘導灯等交換修繕	2,739,000円	フェンス修繕	260,700円	区分	身体障害	知的障害	身体・知的	計	常総市	4人	11人	8人	23人	取手市	2人	12人	0人	14人	守谷市	2人	5人	2人	9人	つくばみらい市	1人	8人	1人	10人	計	9人	36人	11人	56人					
誘導灯等交換修繕	2,739,000円																																									
フェンス修繕	260,700円																																									
区分	身体障害	知的障害	身体・知的	計																																						
常総市	4人	11人	8人	23人																																						
取手市	2人	12人	0人	14人																																						
守谷市	2人	5人	2人	9人																																						
つくばみらい市	1人	8人	1人	10人																																						
計	9人	36人	11人	56人																																						

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果																														
4 衛生費 (決算書P15)	1,842,320,792円	ごみ処理事業 支出額 1,842,320,792円	<p>関係市からの搬入ごみ71,084トン(前年度比1,242トン、1.8%増)を適正に処理しました。</p> <table border="0"> <tr><td>可燃ごみ</td><td>54,209トン</td><td>(704トン、1.3%増)</td></tr> <tr><td>不燃ごみ</td><td>9,383トン</td><td>(329トン、3.6%増)</td></tr> <tr><td>粗大ごみ</td><td>2,086トン</td><td>(304トン、17.1%増)</td></tr> <tr><td>生ごみ</td><td>974トン</td><td>(△16トン、1.6%減)</td></tr> <tr><td>資源物(缶)</td><td>580トン</td><td>(△6トン、1.0%減)</td></tr> <tr><td>資源物(ビン)</td><td>1,521トン</td><td>(△60トン、3.8%減)</td></tr> <tr><td>資源物(ペットボトル)</td><td>532トン</td><td>(2トン、0.4%増)</td></tr> <tr><td>資源物(プラ容器)</td><td>1,734トン</td><td>(△13トン、0.7%減)</td></tr> <tr><td>有害ごみ(乾電池)</td><td>54トン</td><td>(△1トン、1.8%減)</td></tr> <tr><td>有害ごみ(蛍光管)</td><td>11トン</td><td>(△1トン、8.3%減)</td></tr> </table>	可燃ごみ	54,209トン	(704トン、1.3%増)	不燃ごみ	9,383トン	(329トン、3.6%増)	粗大ごみ	2,086トン	(304トン、17.1%増)	生ごみ	974トン	(△16トン、1.6%減)	資源物(缶)	580トン	(△6トン、1.0%減)	資源物(ビン)	1,521トン	(△60トン、3.8%減)	資源物(ペットボトル)	532トン	(2トン、0.4%増)	資源物(プラ容器)	1,734トン	(△13トン、0.7%減)	有害ごみ(乾電池)	54トン	(△1トン、1.8%減)	有害ごみ(蛍光管)	11トン	(△1トン、8.3%減)
可燃ごみ	54,209トン	(704トン、1.3%増)																															
不燃ごみ	9,383トン	(329トン、3.6%増)																															
粗大ごみ	2,086トン	(304トン、17.1%増)																															
生ごみ	974トン	(△16トン、1.6%減)																															
資源物(缶)	580トン	(△6トン、1.0%減)																															
資源物(ビン)	1,521トン	(△60トン、3.8%減)																															
資源物(ペットボトル)	532トン	(2トン、0.4%増)																															
資源物(プラ容器)	1,734トン	(△13トン、0.7%減)																															
有害ごみ(乾電池)	54トン	(△1トン、1.8%減)																															
有害ごみ(蛍光管)	11トン	(△1トン、8.3%減)																															
																																	
令和元年度ごみ処理フロー																																	
																																	

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果
		<p>・ごみ処理施設運営事業            溶融施設            稼働日数:357日            資源化施設            稼働日数:256日            支出額 1,369,243,611円</p>	<p>溶融施設では69,779トン进行溶融処理し、鉄243トン、アルミ184トン进行回収しました。また、可燃ごみから新聞紙等を分別し、18トン进行資源物として搬出しました。</p> <p>資源化施設では15,827トン进行処理し、鉄類386トン、鉄くず414トン、アルミガラ24トン、自転車101トン、混電線類40トン、ステンレスくず3トン、雑家電182トン、羽毛布団1トン、スチール缶類238トン、アルミ缶類276トン、無色カレット664トン、茶色カレット536トン进行資源物として搬出しました。</p> <p>また、その他色のカレット357トン、プラ容器729トン、ペットボトル386トン进行容器包装リサイクル協会を通して資源化するとともに、タイヤ17トン、コンクリガラ3トン、乾電池59トン、蛍光管13トン进行搬出処分しました。</p> <p>委託料では、物価変動費で人件費の評価指数の増減率がプラスとなったこと、また、資源物売払実績額が予定額を下回ったことにより、当初契約額の1,337,700,000円から31,543,611円増額となりました。</p>

市別ごみ搬入量一覧表

(単位:トン・%)

区分	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	生ごみ	資源物				有害ごみ		合計	前年度比
					缶	ビン	ペット	プラ容器	乾電池	蛍光管		
常総市	7,993	1,400	248	41	50	231	78	267	6	2	10,316	1.6
取手市	22,977	3,638	863	214	252	624	227	848	25	5	29,673	0.9
守谷市	13,714	2,430	623	525	170	383	123	357	13	2	18,340	3.4
つくばみらい市	9,525	1,915	352	194	108	283	104	262	10	2	12,755	1.8
合計	54,209	9,383	2,086	974	580	1,521	532	1,734	54	11	71,084	1.8
30年度実績	53,505	9,054	1,782	990	586	1,581	530	1,747	55	12	69,842	
前年度比	1.3	3.6	17.1	△1.6	△1.0	△3.8	0.4	△0.7	△1.8	△8.3	1.8	

・食品リサイクル堆肥化事業 守谷事業所  
 稼働日数:257日  
 支出額 86,197,200円

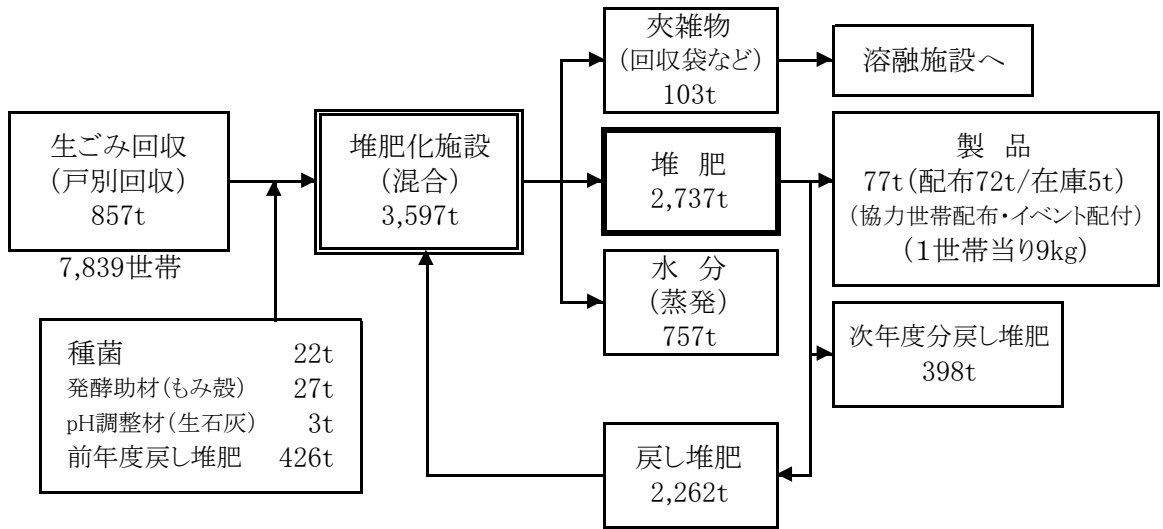
食品リサイクル堆肥化施設(守谷事業所)において、運転管理業務として86,197,200円を支出し、857トン(前年度比7トン増)の生ごみ进行選別し、夾雑物103トン进行溶融処理、種菌22トン、発酵助材27トン、PH調整材3トン、前年度戻し堆肥426トン、戻し堆肥2,262トンを加えて発酵させ、製品として777トンの堆肥、次年度への戻し堆肥进行398トン进行製造しました。





款	決算額	事業概要	主要な施策の成果
---	-----	------	----------

令和元年度生ごみ回収実績フロー(守谷事業所)



令和元年度生ごみ回収実績(守谷事業所)

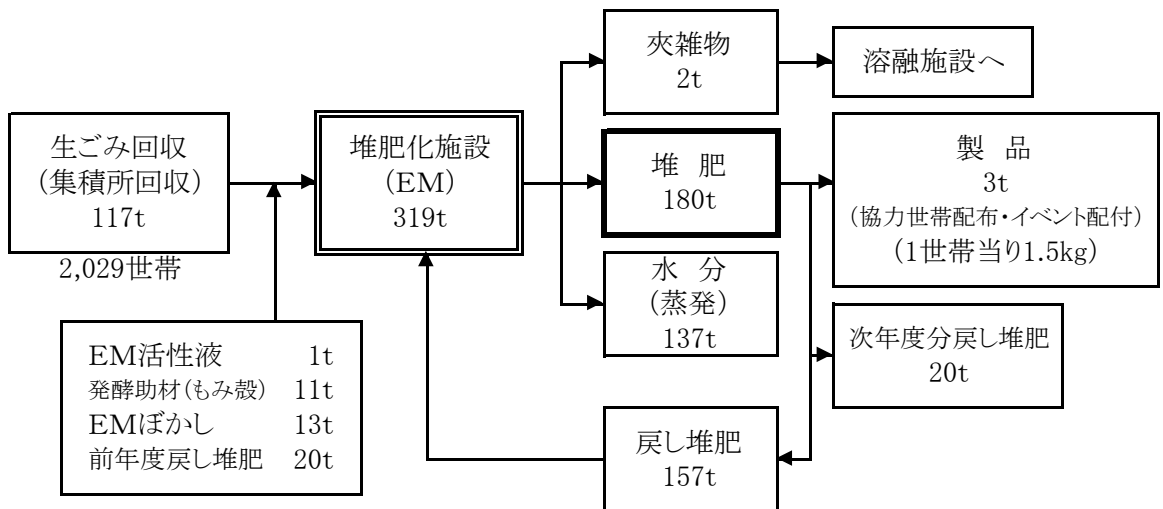
区分	常総市	取手市	守谷市	つくばみらい市	計
回収量(t)	41	97	525	194	857
協力世帯数(世帯)	357	873	5,017	1,592	7,839

取手事業所  
稼働日数:257日  
支出額 21,451,200円

食品リサイクル堆肥化施設(取手事業所)において、  
運転管理業務として21,451,200円を支出し、117トン(前  
年度比23トン減)の生ごみを選別し、夾雑物2トン(前  
年度比2トン減)を溶融処理、前年度戻し堆肥20トンと、EM  
活性液1トン、発酵助材11トン、EMぼかし13トン、戻し  
堆肥157トンを加え発酵させ、次年度戻し堆肥用20トン、  
協力世帯及びイベント配布用に3トンを製造しました。



令和元年度生ごみ回収実績フロー(取手事業所)



款	決算額	事業概要	主要な施策の成果												
		<ul style="list-style-type: none"> <li>•溶融スラグ等最終処分 支出額 181,927,441円</li> <li>•廃乾電池搬出処理処分 支出額 4,086,886円</li> <li>•廃蛍光管搬出処理処分 支出額 2,101,456円</li> <li>•再商品化委託 (その他色ガラス) 支出額 496,184円 (プラスチック容器包装) 支出額 365,428円</li> <li>•分析委託 支出額 5,925,706円</li> <li>•施設見学者案内</li> <li>•常総環境センター検討 委員会及び実行委員 支出額 485,000円</li> <li>•屋外喫煙ブース設置工 事 支出額 2,106,000円</li> <li>•常総環境センター長期 包括運営管理発注支援 業務委託(1年次) 支出額 2,420,000円</li> <li>放射能対策事業 支出額 1,767,687円</li> </ul>	<p>溶融スラグ等の処分は自区内処理が原則ですが、圏域内に最終処分場がないため、元年度も前年度同様に4箇所、スラグ3,849トン、飛灰処理物2,497トン、溶融不適物468トンを処分しました。</p> <p>廃乾電池等の有害ごみを59トン搬出処分しました。</p> <p>廃蛍光管の有害ごみを13トン搬出処分しました。</p> <p>その他色ガラスの再商品化委託として搬出した357トンの11%負担となる再商品化費用を支出しました。プラスチック製容器包装再商品化委託として搬出した729トンの1%負担となる再商品化費用を支出しました。なお、ペットボトルは386トン搬出しました。</p> <p>環境センターから排出される排ガス及びダイオキシン類、生ごみ堆肥化の臭気及び製造した堆肥、溶融スラグ、飛灰処理物、溶融不適物について分析をしました。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">周辺公害分析</td> <td style="text-align: right;">5,170,000円</td> </tr> <tr> <td>生ごみ堆肥分析</td> <td style="text-align: right;">308,000円</td> </tr> <tr> <td>堆肥化施設臭気測定</td> <td style="text-align: right;">104,760円</td> </tr> <tr> <td>最終処分物溶出試験</td> <td style="text-align: right;">149,040円</td> </tr> <tr> <td>溶融スラグ品質試験</td> <td style="text-align: right;">95,806円</td> </tr> <tr> <td>排ガス水銀分析委託</td> <td style="text-align: right;">98,100円</td> </tr> </table> <p>圏域内小学4年生や中学生による社会科及び総合学習導入の一環としての校外学習と一般希望者による施設見学があり、環境センターで延べ59団体、3,078名(学生及び一般)、堆肥化施設守谷事業所では、3団体、38名(一般)の見学者を案内し、ごみ処理施設の状況及びごみ問題に対する意識の高揚を図りました。</p> <p>検討委員会を2回、環境センターふれあいデー実行委員会を9回開催し、常総環境センターの運営状況を協議するとともに、ふれあいデーの実施に向けて物品調達、参加団体連絡調整、スケジュール調整等を実施しました。</p> <p>受動喫煙防止法に基づく建物内禁煙の実施に伴い、屋外に喫煙ブースの設置工事を実施しました。</p> <p>令和3年度からのごみ処理施設第3期の運営管理委託について、これまでの運営管理委託を検証するとともに他団体の状況を調査し、最適な入札・契約方式、参加資格要件を調査、選考方法の提案、これらを踏まえた要求水準書案の作成、契約書案の作成、業者見積査定による発注支援業務を令和元年度・2年度で実施するもので、1年次は、入札・契約に向けた契約時期、事業期間、委託方式、入札参加資格要件、契約方式といった基本条件をとりまとめました。</p> <p>東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により、ごみ焼却施設の焼却飛灰に高濃度の放射性物質が検出され、8,000ベクレルを超えるものは、国の管理下の指定廃棄物となったことから、最終処分場に埋め立てすることができなくなり、常総環境センターでは指定廃棄物611トンの一時保管を継続しました。</p>	周辺公害分析	5,170,000円	生ごみ堆肥分析	308,000円	堆肥化施設臭気測定	104,760円	最終処分物溶出試験	149,040円	溶融スラグ品質試験	95,806円	排ガス水銀分析委託	98,100円
周辺公害分析	5,170,000円														
生ごみ堆肥分析	308,000円														
堆肥化施設臭気測定	104,760円														
最終処分物溶出試験	149,040円														
溶融スラグ品質試験	95,806円														
排ガス水銀分析委託	98,100円														

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果												
		<ul style="list-style-type: none"> <li>放射能分析委託 支出額 1,628,000円</li> <li>【国補】 1,188,000円</li> <li>【一財】 440,000円</li> </ul>	<p>放射性物質による環境汚染への対処に関する特別措置法の規定による濃度測定で、排ガス、排水、溶融スラグ、飛灰処理物、溶融不適物、大野川河川水の測定を実施し、費用の内、大野川河川水及び排水の測定費用を除く1,188,000円については、国庫補助金の交付を受けました。</p>												
5 土木費 (決算書P21)	310,892,441円	<p>運動公園管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開場日数:315日</li> <li>室内温水プール:260日間</li> <li>屋外プール:41日間</li> </ul>	<p>施設利用者が安心且つ安全に利用できるよう、施設の修繕、園内の除草・清掃に努めました。</p> <p>45年ぶりの本県開催となりました茨城国体では、当公園の体育館が成年女子ハンドボールの競技会場となり、茨城県が準優勝したことで会場は大いに盛り上がり、また競技会期間中は関係団体と一丸となって円滑な運営に取り組み、大会は成功裏に幕を閉じました。利用者数については、茨城国体による利用があったこと、また、屋外プールにおいて営業日数が通常に戻ったこと(H30年度は臨時修繕等により7月休場)等があり、2月までは前年度比7,938人の増(4.3%増)でしたが、3月以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による屋内施設の休場や屋外施設のキャンセルが相次いだことで、令和元年度実績としては施設全体の利用者数は2,169人減(1.1%減)の197,103人となりました。</p>												
		<ul style="list-style-type: none"> <li>常総運動公園運営管理委託料 支出額 111,921,400円</li> <li>点検整備委託料 支出額 19,097,320円</li> <li>修繕料 支出額 20,430,291円</li> <li>施設修繕 20,337,411円</li> <li>備品修繕 92,880円</li> </ul>	<p>常総運動公園運営管理業務は、平成29年度から令和元年度までの3箇年の委託契約で、温水プール及び屋外プールの管理運営、体育館等各施設の受付・案内サービス、給水設備点検整備、温水プールろ過装置点検整備、屋外プール機械設備点検整備、園内清掃、排水溝清掃を実施しました。</p> <p>点検整備委託</p> <table border="0"> <tr><td>受変電発電設備</td><td>3,465,000円</td></tr> <tr><td>自動制御装置</td><td>3,850,000円</td></tr> <tr><td>空調設備</td><td>9,790,000円</td></tr> <tr><td>第一種圧力容器</td><td>1,269,000円</td></tr> <tr><td>消防設備</td><td>638,000円</td></tr> <tr><td>遊具定期</td><td>85,320円</td></tr> </table> <p>経年により老朽化した各施設の修繕を行い、利用者の安全とサービス向上を図りました。</p> <p>深井戸水中ポンプ及び圧力タンク交換修繕 5,445,000円</p> <p>空調室外機囲い交換修繕 3,240,000円</p> <p>給水ポンプユニット交換修繕 2,530,000円</p> <p>野球場バックネット梁等修繕 2,046,000円</p> <p>屋外スライダープール階段修繕 1,896,480円</p> <p>自動ドア修繕 973,500円</p> <p>アリーナコートライン修繕 759,000円</p> <p>温水プールろ過機バルブ交換修繕 654,500円</p> <p>その他26件 2,792,931円</p> <p>自走ロータリーモア修繕 92,880円</p>	受変電発電設備	3,465,000円	自動制御装置	3,850,000円	空調設備	9,790,000円	第一種圧力容器	1,269,000円	消防設備	638,000円	遊具定期	85,320円
受変電発電設備	3,465,000円														
自動制御装置	3,850,000円														
空調設備	9,790,000円														
第一種圧力容器	1,269,000円														
消防設備	638,000円														
遊具定期	85,320円														



款	決算額	事業概要	主要な施策の成果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種大会運営</li> <li>・公園駐車場入口改修事業 支出額 16,200,000円 【土木債】 16,200,000円</li> <li>・公園浄化槽撤去等事業 支出額 35,750,000円</li> </ul>	<p>2大会を実施し、1,392人の参加があり、地域スポーツの振興と交流を図りました。</p> <p>公園駐車場出入口の利便性を高めるために改修工事設計業務を昨年度に実施しましたが、実施設計を進めるうえで、取手警察署との交差点協議や守谷市担当課との協議により、設計変更が必要となるなど進捗に遅れが生じたために実工事が年度内に完了することが困難となったことから工事を今年度に繰越し、実施したものです。</p> <p>公園駐車場入口改修工事 16,200,000円</p> <p>平成26年度から平成28年度の3箇年の給排水整備工事で公共下水道に接続・供用開始したことにより不要となった既存浄化槽を平成30年度から2箇年で撤去したもので、今年度はレストハウス脇と野球場脇の浄化槽を撤去し、撤去後の路盤を芝及び砕石舗装で施工し、さらに前年度施工箇所の仮舗装部及び給排水設備工事施工の際の仮舗装部の本復旧を行いました。</p> <p>公園浄化槽撤去等工事実施設計監理業務委託 2,750,000円 公園浄化槽撤去等工事 33,000,000円</p>
 <p>舗装本復旧</p> <p>浄化槽撤去・芝張り</p> <p>浄化槽撤去・砕石舗装</p> <p>舗装本復旧</p> <p>常総ふれあいスポーツセンター</p> <p>屋外プール</p> <p>ゲートボール場</p> <p>陸上競技場</p> <p>テニスコート</p> <p>多目的広場</p> <p>自由広場</p> <p>野球場</p> <p>常総環境センター</p> <p>いこいの郷 常総</p>			

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果
		・備品整備事業 支出額 6,722,679円	老朽化した園内整備機械の更新、利用者の利便性向上を図るため、運動用備品を整備しました。 ホイルローダー 4,098,600円 水着脱水機2台 847,800円 屋外プール用テント 他 運動施設用品7件 824,206円 牽引式芝生スーパー 他 施設整備用品6件 522,270円 消火器25本 他 庁用器具8件 429,803円



大会等一覧表 (単位:人)

実施日	大会名	参加人数
5/29～31	第39回常総広域圏高等学校硬式野球大会	320
野球の部(8/19～23) サッカーの部(11/9・10) ソフトテニスの部 (悪天候中止)	第42回常総広域圏中学校対抗球技大会	1,072
合計(大会参加者は市別利用者数に含まれる)		1,392

市別利用者数 (単位:人)

区分	野球場	テニスコート	陸上競技場	自由広場	体育館	その他	合計
常総市	250	1,075	106	2,418	2,005	267	6,121
取手市	1,560	3,346	205	5,477	2,892	446	13,926
守谷市	2,206	13,700	2,956	14,683	25,384	6,399	65,328
つくばみらい市	639	1,951	735	3,551	2,172	308	9,356
坂東市	230	362	62	655	551	105	1,965
圏域外	1,715	1,542	95	5,551	6,887	1,482	17,272
合計	6,600	21,976	4,159	32,335	39,891	9,007	113,968
30年度実績	7,074	21,918	4,844	33,020	40,086	4,580	111,522
前年度比	△ 6.7	0.3	△ 14.1	△ 2.1	△ 0.5	96.7	2.2

※その他とは、多目的広場・ゲートボール場・会議室の申請利用者である。

室内温水プール利用者数 (単位:人)

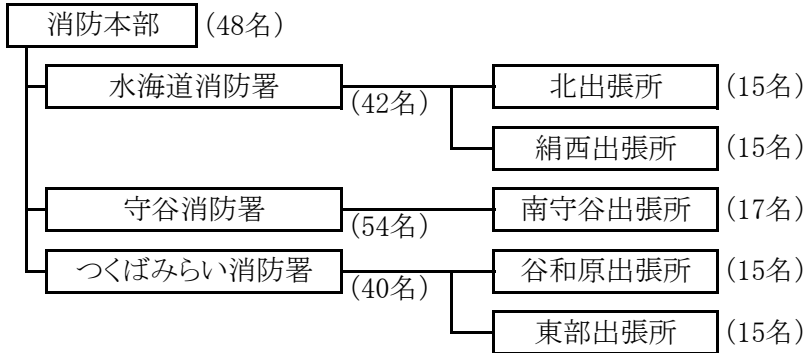
区分	一般	中学生以下	幼児	減免	合計
利用者数	42,624	10,759	499	14,936	68,818
30年度実績	50,938	13,603	760	13,323	78,624
前年度比	△ 16.3	△ 20.9	△ 34.3	12.1	△ 12.5

屋外プール利用者数 (単位:人)

区分	一般	中学生以下	未就学児	減免	合計
利用者数	4,942	7,312	1,646	417	14,317
30年度実績	3,076	4,534	1,115	401	9,126
前年度比	60.7	61.3	47.6	4.0	56.9

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果
6 消防費 (決算書P23)	2,496,003,655円	消防・救急・救助業務 消防総務費 支出額 2,283,081,673円  消防職員261名 人件費 支出額 2,142,861,765円	<p>住民の生命・身体・財産を守るため、火災水災等の災害防除や大型店舗、老人福祉施設、危険物施設に対する査察、検査等の予防業務、さらに病院、学校等での避難訓練、一般住民や事業所等を対象とした救命講習会などの業務を実施しました。また、住宅防火対策の推進、住宅用火災警報器設置の普及促進等の広報活動を実施し、火災予防の普及高揚を図りました。</p> <p>救急業務においては、救急需要の増加に対応するため、救急救命士、指導救命士の養成さらに職員の病院研修を実施させ、組織内の救急業務の質の向上に努めました。</p> <p>学校入校においては、消防に関する高度の知識及び技術を総合的に習得できる幹部課程への入校、さらには災害現場での確かな消防戦術を指揮し安全管理ができる警防課入校等、職員のスキルアップを図りました。</p> <p>消防費の主たる経費は、職員261名の人件費2,142,861,765円で消防費全体の85.9%を占めました。</p>

消防組織図



階級別職員数

職名	人数
消防正監	1
消防監	4
消防司令長	14
消防司令	50
消防司令補	56
消防士長	49
消防副士長	34
消防士	53
合計	261

職員採用	消防職員13名を採用し、適正な消防組織体制の維持に努めました。
【警防業務】	
・火災状況	火災出動が64件で、前年度より9件増加しました。火災種別では、建物火災が全体の43.8%を占めています。
・救急活動状況	救急業務で6,013件出動し、前年度比で299件減少しました。救急種別では、急病が全体の69.3%を占めています。
・救助活動状況	救助業務は143件出動し、前年比で29件増加しました。救助種別では交通事故が全体の28.7%を占めています。
・救命講習会	心肺蘇生法・AEDの取扱いなどの応急手当法の普及啓発のため、普通救命講習会を116回実施し、総受講者数は1,562名でした。また上級救命講習会を1回実施し、受講者は16名でした。
【予防業務】	
・予防査察	火災予防を図るため防火対象物・危険物施設への立入検査を行い、不備欠陥事項の是正及び防火管理体制の指導を行いました。 検査実施防火対象物数 959事業所 検査実施危険物施設数 168事業所

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防用設備設置</li> <li>・危険物施設許認可事務</li> <li>・消防訓練等</li> <li>・防火管理者資格取得講習会</li> </ul>	<p>各種消防用設備等の設置指導及び完成検査を行いました。</p> <p>消防用設備完成検査済証 交付件数 215件</p> <p>危険物施設の設置及び変更許可申請施設について許可及び完成検査を実施しました。</p> <p>設置許可件数 40件 (設置12件・変更28件)</p> <p>完成検査数 38件 (設置12件・変更26件)</p> <p>各事業所・自治会及び幼少年防火クラブ等で消防訓練を719回実施し、延べ47,988人が参加、防火・防災意識の高揚を図り、火災・災害時の対処法の周知に努めました。</p> <p>消防法第8条に定める防火対象物の関係者に対して甲種防火管理業務講習会を2回行い133人が受講し、また、再講習を17名が受講し管理業務の徹底を図りました。</p>
			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災予防広報</li> </ul>	<p>春秋の火災予防週間に合わせた各種広報活動、小学5年生を対象とした火災予防ポスター募集及び各市で実施される文化祭行事等に協賛して防火フェスティバルを開催し、火災予防意識向上に努めました。</p>
		 <p>TX祭り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署見学</li> <li>【総務業務】</li> <li>・消防学校等入校 支出額 6,620,093円</li> <li>・普通教育 支出額 411,354円</li> </ul>	<p>小学生を中心とした社会見学の一環として、消防署見学・職場体験を受入れ、3,919人が各消防署を訪れ、出動訓練や消防車両見学及び消防資機材の取扱い体験などを通し、消防業務に対する理解を深めることに寄与しました。</p> <p>多種多様な災害に対応し、高度な救命・救助技術、知識を習得するため、救命士養成、消防大学校、県立消防学校等、14課程に40名の消防職員を入校させ、知識・技術の向上を図りました。</p> <p>茨城県及び消防長会等が主催する各種講習会、日本救急医療財団が開催する研修会に職員を参加させ知識、技術習得に努めました。</p>

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果												
		<p>・いばらき消防指令センター負担金 支出額 29,028,000円</p> 	<p>茨城消防救急無線・指令センター運営協議会は、構成団体21消防本部(つくば市消防本部は消防救急無線の運営のみ)により運用されており、当消防本部からは、事務局員として1名、指令センター係員として3名の計4名の職員を派遣しました。</p> <p>いばらき消防指令センター</p> <table border="0"> <tr> <td>総務費</td> <td>1,894,000円</td> </tr> <tr> <td>無線費</td> <td>14,773,000円</td> </tr> <tr> <td>指令センター費</td> <td>12,361,000円</td> </tr> </table>	総務費	1,894,000円	無線費	14,773,000円	指令センター費	12,361,000円						
総務費	1,894,000円														
無線費	14,773,000円														
指令センター費	12,361,000円														
		<p>【大規模災害】 ・常総市坂手町廃材置場火災 支出額 20,049,000円</p> <p>時間外手当 12,317,000円</p> <p>管理職員特別勤務手当 410,000円</p> <p>燃料費 1,084,000円</p> <p>備品購入費 6,114,000円 (防火衣及び消防ホースの更新)</p> <p>需用費 124,000円 (長期活動による車両修繕)</p>	<p>発生場所 : 茨城県常総市坂手町7833番地2 火災種別 : その他火災 出火日時 : 令和元年5月15日(水)05時45分頃 鎮火日時 : 令和元年5月27日(月)09時15分 火災概要 : 大量に積み重ねられた廃材(プラスチック・金属類等)から出火し、延焼拡大したもの。</p> <p>応援要請 : 茨城県防災航空隊 埼玉県防災航空隊 栃木県消防防災航空隊 福島県消防防災航空隊 ※茨城県防災航空隊はヘリ対空検査中のため地上支援にあたる。</p> <p>相互応援 : 茨城西南広域消防坂東消防署水槽車 茨城県消防広域応援隊 : 茨城県内23本部</p>												
		<p>時間外手当 12,317,000円</p> <p>管理職員特別勤務手当 410,000円</p> <p>燃料費 1,084,000円</p> <p>備品購入費 6,114,000円 (防火衣及び消防ホースの更新)</p> <p>需用費 124,000円 (長期活動による車両修繕)</p> 	<p>茨城西南広域消防坂東消防署水槽車 茨城県消防広域応援隊 : 茨城県内23本部 (5月17日から5月21日まで)</p> <p>被害状況 : 人的被害 なし 建物被害 敷地内プレハブ1棟 焼損面積 5,594.4㎡</p> <p>出場状況 : 延出動人員1,377名 延出動車両245台</p> <table border="0"> <tr> <td>常総広域消防本部</td> <td>101台</td> <td>674名</td> </tr> <tr> <td>県消防広域応援隊</td> <td>109台</td> <td>456名</td> </tr> <tr> <td>常総市消防団</td> <td>22台</td> <td>168名</td> </tr> <tr> <td>防災航空隊</td> <td>13台</td> <td>79名</td> </tr> </table>	常総広域消防本部	101台	674名	県消防広域応援隊	109台	456名	常総市消防団	22台	168名	防災航空隊	13台	79名
常総広域消防本部	101台	674名													
県消防広域応援隊	109台	456名													
常総市消防団	22台	168名													
防災航空隊	13台	79名													
		<p>・那珂川氾濫に伴う広域応援隊出場</p> <p>消防施設費 支出額 212,921,982円</p> <p>・施設修繕 支出額 15,800,405円</p>	<p>出場日時 : 令和元年10月13日(日)10時00分 帰署日時 : 令和元年10月13日(日)20時00分 進出拠点 : 水戸市消防本部北消防署桜の牧出張所 出場隊数 : 指揮隊4名・救助隊5名・後方支援隊4名 活動状況 : 救助艇を使用し28名を救出する</p> <p>庁舎施設、備品、車両等の維持管理については、絹西出張所エアコン修繕等の庁舎修繕で9,372,707円、救急資器材及び空気呼吸器修理等の備品修繕で1,070,739円、化学車PTO他交換修繕等の車両修繕で5,356,959円を支出しました。</p>												



款	決算額	事業概要	主要な施策の成果
		<p>・消防本部非常電源他更新及び水海道消防署改修事業</p> 	<p>平成27年9月の関東・東北豪雨により、消防本部の変電設備及び非常用発電設備が浸水し、機能不能となったことから、同年10月に主要機能部のみ応急修理しましたが、今後、再度浸水することのないよう嵩上げするとともに、変電設備及び非常用発電設備を更新することとし、合わせて、女性活躍推進法に基づく採用に対応するための水海道消防署の改修、さらにその改修にて移動する必要が生じた資機材を収納するための倉庫を新築することとしたものです。</p> <p>しかし、実施した条件付き一般競争入札参加者が規定数に満たなかったこと及び財源不足による事務手続きにより、年度内に必要な工期を確保することができなくなり、工程管理を行ったものの年度内のしゅん工が困難となったため繰越したものです。</p> <p>【繰越明許費】  消防本部非常電源他及び水海道消防署改修工事  123,607,000円  消防本部非常電源他及び水海道消防署改修工事監理委託  4,070,000円</p>
		<p>・車両購入事業  (水槽付消防ポンプ自動車)  支出額 111,132,000円  【国 補】 33,750,000円  【消防債】 66,600,000円  【一 財】 10,782,000円  (消防ポンプ自動車)  支出額 31,860,000円  【消防債】 28,700,000円  【一 財】 3,160,000円  (高規格救急自動車)  支出額 32,780,000円  【消防債】 27,600,000円  【一 財】 5,180,000円  (広報自動車)  支出額 5,076,000円</p>	<p>絹西出張所に配備されている水槽付消防ポンプ自動車は、平成7年3月に導入され、24年が経過、北出張所に配備されている水槽付消防ポンプ自動車は、平成9年2月に導入され、22年が経過、また、守谷消防署に配備されている消防ポンプ自動車は、平成10年12月に導入され、21年が経過します。それぞれ経年によるエンジン性能・ポンプ性能の低下とともに部品調達が困難な状況であるため、車両更新しました。</p> <p>絹西出張所の高規格救急自動車は、平成19年度に配備され、水海道消防署管轄は救急件数が非常に多く、年々増加傾向にあります。高齢者の救急事案に対応すること、また、車両故障が頻繁に発生しているため、車両更新しました。</p> <p>守谷消防署に配備されている守谷広報2号車は昭和63年7月に配備され、31年が経過し、経年によるエンジン性能の低下とともに各修繕部品が確保できない状況であることから車両更新しました。</p> <p>また、水海道消防署北出張所に配備されている広報車は、交通事故により廃車となり、災害時に出場する車両がないため購入したものです。</p>
		 <p>水槽付消防ポンプ車</p>	<p>水槽付消防ポンプ自動車購入 111,132,000円  (北出張所・絹西出張所)  消防ポンプ自動車購入(守谷消防署) 31,860,000円  高規格救急自動車購入 32,780,000円  (絹西出張所)  広報自動車購入 5,076,000円  (守谷消防署・北出張所)</p>
		 <p>消防ポンプ車</p>	 <p>高規格救急車</p>

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果					
		火災出動件数 (単位:件)						
		区分	建物	林野	車両	その他	合計	前年度比
		常総市	12	0	3	5	20	△ 2
		守谷市	12	0	0	11	23	6
		つくばみらい市	4	0	4	13	21	5
		合計	28	0	7	29	64	9
		30年度実績	29	0	4	22	55	
		※その他とは、河川敷や休耕地・道路傍等の枯れ草火災である。						

救急出動件数 (単位:件)											
区分	火災	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	前年度比
水海道消防署	6	73	8	3	109	5	8	555	104	871	△ 55
北出張所	2	31	11	6	40	1	1	298	10	400	△ 73
絹西出張所	6	31	16	6	57	0	2	216	59	393	△ 58
守谷消防署	29	109	14	8	197	7	7	878	139	1,388	△ 55
南守谷出張所	2	93	8	0	130	2	8	707	38	988	0
つくばみらい消防署	19	74	6	5	141	1	6	643	38	933	△ 22
谷和原出張所	3	66	4	3	91	5	6	432	31	641	△ 7
東部出張所	0	22	6	1	74	1	3	268	24	399	△ 29
合計	67	499	73	32	839	22	41	3,997	443	6,013	△ 299
30年度実績	55	568	74	33	875	18	58	4,236	395	6,312	

※その他とは、自然災害・水難・病院間搬送・泥酔者等である。

救助出動件数 (単位:件)											
区分	火災	交通事故	風水害等	機械事故	建物事故	ガス酸欠	水難	破裂	その他	合計	前年度比
件数	36	41	0	0	2	1	5	0	58	143	29
30年度実績	25	31	0	2	10	3	2	0	41	114	

※その他とは、非火災等である。

#### 消防学校等入校関係一覧

	課程	内容	期間	人員
消防大学校	上級幹部科	消防に関する高度な知識及び技術を総合的に修得させ、現に消防の上級幹部である者の資質を向上させる。	R2.1.15~1.31	1名
	火災調査課	火災調査業務に関する高度な知識及び技術を専門的に修得させるとともに、教育指導者としての資質を向上させる。	R1.6.5~7.24	1名
	NBCコース	NBC(核、生物、化学)災害の基礎理解、活動技術、活動・凶上訓練等の座学及び実技を通じて、NBC災害対応要員等に適した業務や必要な知識、能力を修得させる。	R2.2.4~2.26	1名

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果																																																						
消防学校	課程	内容	期間	人員																																																					
	初任科(前期)	新規採用消防職員の教育	H31.4.9～R1.9.10	7名																																																					
	初任科(後期)	〃	R1.10.17～R2.3.17	5名																																																					
	救助科	救助業務従事者養成	R1.9.12～10.16	2名																																																					
	予防査察科	予防査察業務従事者養成	R1.9.18～10.1	1名																																																					
	警防科	警防業務従事者養成	R1.10.23～11.8	1名																																																					
	火災調査科	火災調査業務従事者養成	R1.12.9～12.20	2名																																																					
	救急科	救急業務従事者要請	R2.1.9～3.3	9名																																																					
	特殊災害科	特殊災害現場での指揮担当者の教育	R2.1.28～2.5	2名																																																					
	操法指導者研修会	消防ポンプ操法の指導者教育	R1.5.22～5.23	4名																																																					
水難救助課程	水難救助業務従事者養成	R1.7.22～8.2	1名																																																						
東研 修所	救急救命士 新規養成課程	救急救命士養成	H31.4.4～R1.10.3	2名																																																					
九研 修所	指導救命士 養成研修	指導救命士養成	R1.6.24～8.5	1名																																																					
消 防 署 見 学 者 一 覧																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>件数 (件)</th> <th>見学者数 (人)</th> <th>前年度比 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水海道消防署</td> <td>22</td> <td>892</td> <td>191</td> </tr> <tr> <td>守谷消防署</td> <td>30</td> <td>1,863</td> <td>712</td> </tr> <tr> <td>つくばみらい消防署</td> <td>22</td> <td>1,164</td> <td>593</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>74</td> <td>3,919</td> <td>1,496</td> </tr> <tr> <td>30年度実績</td> <td>59</td> <td>2,423</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区 分	件数 (件)	見学者数 (人)	前年度比 (人)	水海道消防署	22	892	191	守谷消防署	30	1,863	712	つくばみらい消防署	22	1,164	593	合 計	74	3,919	1,496	30年度実績	59	2,423																														
区 分	件数 (件)	見学者数 (人)	前年度比 (人)																																																						
水海道消防署	22	892	191																																																						
守谷消防署	30	1,863	712																																																						
つくばみらい消防署	22	1,164	593																																																						
合 計	74	3,919	1,496																																																						
30年度実績	59	2,423																																																							
消 防 職 員 資 格 取 得 状 況																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">資格名</th> <th>人数</th> <th colspan="2">資格名</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">危険物取扱者免状</td> <td>甲種</td> <td>1</td> <td>小型船舶操縦士新2級</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>乙種4類</td> <td>129</td> <td>消防設備点検資格者</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">予防技術資格者</td> <td>防火査察専門員</td> <td>24</td> <td>酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>消防用設備専門員</td> <td>11</td> <td>衛生管理者</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>危険物専門員</td> <td>7</td> <td>特殊無線技士</td> <td>239</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>移動式クレーン特別教育</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>特定化学物質作業主任者</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>電気取扱者(低・高・特高)</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>潜水士</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>救急救命士</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table>					資格名		人数	資格名		人数	危険物取扱者免状	甲種	1	小型船舶操縦士新2級	27	乙種4類	129	消防設備点検資格者	0	予防技術資格者	防火査察専門員	24	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	34	消防用設備専門員	11	衛生管理者	1	危険物専門員	7	特殊無線技士	239				移動式クレーン特別教育	62				特定化学物質作業主任者	40				電気取扱者(低・高・特高)	7				潜水士	63				救急救命士	46
資格名		人数	資格名		人数																																																				
危険物取扱者免状	甲種	1	小型船舶操縦士新2級	27																																																					
	乙種4類	129	消防設備点検資格者	0																																																					
予防技術資格者	防火査察専門員	24	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	34																																																					
	消防用設備専門員	11	衛生管理者	1																																																					
	危険物専門員	7	特殊無線技士	239																																																					
			移動式クレーン特別教育	62																																																					
			特定化学物質作業主任者	40																																																					
			電気取扱者(低・高・特高)	7																																																					
			潜水士	63																																																					
			救急救命士	46																																																					

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果
7 公債費 (決算書P29)	1,181,881,860円	地方債償還 厚生福祉 支出額 102,930,156円 廃棄物処理 支出額 955,738,133円 都市計画 支出額 16,539,491円 消防 支出額 106,674,080円	(障害者施設・地域交流センター) 元金 94,379,751円 利子 8,550,405円 (ごみ処理施設・生ごみ堆肥化施設) 元金 877,861,625円 利子 77,876,508円 (テニスコート・給排水設備・自由広場) 元金 16,033,222円 利子 506,269円 (車両・指令センター・無線・防災情報ネットワーク) 元金 106,192,916円 利子 481,164円

## 4 性質別分類一覧表

(単位:千円・%)

区 分	議会費	総務費	民生費	衛生費	土木費	消防費	公債費	合 計	構 成 比
1 人 件 費	605	82,841	10	69,672	68,283	2,123,071		2,344,482	39.2
(1) 議員・委員報酬	605	563	10	485				1,663	
(2) 特別職の給与		250						250	
(3) 職員給		64,192		50,444	53,557	1,641,880		1,810,073	
(4) その他		17,836		18,743	14,726	481,191		532,496	
2 物 件 費	149	41,986	2,707	1,753,334	165,858	120,390		2,084,424	34.9
3 維持補修費		4,800	3,000	8,616	53,337	9,373		79,126	1.3
4 扶 助 費		240		240	360	19,785		20,625	0.3
5 補助費等	14	429	207	8,353	2,755	40,523		52,281	0.9
(1) 国・県に対するもの				926		1,315		2,241	
(2) 同級団体に対するもの	14	60	1	8		187		270	
(3) その他に対するもの		369	206	7,419	2,755	39,021		49,770	
6 普通建設事業費		10,573		2,106	20,299	182,862		215,840	3.6
(1) 補助事業費						67,500		67,500	
(2) 単独事業費		10,573		2,106	20,299	115,362		148,340	
(3) 県営事業負担金									
7 災害復旧事業費									-
7 公 債 費							1,181,882	1,181,882	19.8
8 諸 支 出 金									
歳出合計	768	140,869	5,924	1,842,321	310,892	2,496,004	1,181,882	5,978,660	100.0

※性質別の区分は、地方財政状況調査に基づいています。

5 地方債現在高

区 分	借 入 年月日	起 債 額 (千円)	利 率 (年間 (%)	償還 年数 (年)	償還 終了 年度 (年度)	平成30年度末 現 在 高 (円)	決 算 年 度 中 増 減 高		令和元年度末 現 在 高 (円)
							起 債 額 (円)	元金償還額 (円)	
民生	計	1,324,900				704,281,540	0	94,379,751	609,901,789
	障害者施設建設	H19.3.26	333,500	1.70	15	R3	89,829,540	29,437,751	60,391,789
	障害者施設建設 (一般財源化分)	H19.4.13	248,600	2.08	15	R3	62,148,000	20,716,000	41,432,000
	福祉センター建設(実施設計)	H22.4.26	22,400	1.803	15	R6	11,204,000	1,866,000	9,338,000
	福祉センター建設	H23.3.24	182,200	1.30	20	R12	128,520,000	10,710,000	117,810,000
	福祉センター建設	H24.3.26	518,900	1.00	20	R13	396,760,000	30,520,000	366,240,000
	福祉センター建設	H25.3.25	19,300	0.80	20	R14	15,820,000	1,130,000	14,690,000
衛生	計	12,762,500				6,812,467,516	0	877,861,625	5,934,605,891
	生ごみ堆肥化施設建設	H20.4.21	222,700	1.653	15	R4	74,232,000	18,558,000	55,674,000
	ごみ処理施設建設 (ごみ焼却施設)	H21.4.24	12,700	1.50	15	R5	5,569,640	1,080,886	4,488,754
	ごみ処理施設建設 (リサイクル施設)	H21.4.24	6,500	1.50	15	R5	2,850,603	553,209	2,297,394
	ごみ処理施設建設 (ごみ焼却施設)	H22.4.26	201,500	1.40	15	R6	104,964,297	16,889,614	88,074,683
	ごみ処理施設建設 (リサイクル施設)	H22.4.26	103,800	1.40	15	R6	54,070,938	8,700,456	45,370,482
	ごみ処理施設建設 (ごみ焼却施設)	H23.4.25	3,386,400	1.30	15	R7	2,039,085,216	280,097,239	1,758,987,977
	ごみ処理施設建設 (リサイクル施設)	H23.4.25	821,000	1.30	15	R7	494,356,533	67,906,872	426,449,661
	ごみ処理施設建設	H24.4.24	5,605,600	1.10	15	R8	3,818,431,241	459,180,339	3,359,250,902
	ごみ処理施設建設	H24.10.26	2,402,300	0.90	15	R9	218,907,048	24,895,010	194,012,038
土木	計	295,000				252,756,776	16,200,000	16,033,222	252,923,554
	テニスコート改修	H25.3.25	21,700	0.80	20	R14	17,780,000	1,270,000	16,510,000
	公園給排水整備	H26.3.31	3,800	0.70	15	R10	2,710,000	271,000	2,439,000
	公園給排水整備	H27.3.31	30,900	0.50	15	R11	24,277,000	2,207,000	22,070,000
	公園給排水整備	H28.3.31	57,400	0.10	15	R12	49,200,000	4,100,000	45,100,000
	自由広場人工芝生化	H28.3.31	27,900	0.10	15	R12	23,904,000	1,992,000	21,912,000
	自由広場人工芝生化	H29.3.27	10,100	0.01	10	R8	8,977,776	1,122,222	7,855,554
	自由広場人工芝生化	H29.3.31	9,700	0.40	10	R8	8,608,000	1,076,000	7,532,000
	公園給排水整備 自由広場人工芝生化	H29.5.24	60,000	0.10	15	R13	60,000,000	0	60,000,000
	公園アリーナ改修	H30.3.31	55,800	0.10	15	R14	55,800,000	3,995,000	51,805,000
	公園駐車場入口改修(実施設計)	H31.3.29	1,500	0.03	15	R15	1,500,000	0	1,500,000
	公園駐車場入口改修	R1.9.30	16,200	0.004	15	R16		16,200,000	0
消防	計	776,700				457,256,793	122,900,000	106,192,916	473,963,877
	共同指令センター整備	H25.3.25	1,300	0.10	7	R1	260,000	260,000	0
	消防救急無線共同整備	H25.4.25	1,700	0.40	10	R4	856,793	212,916	643,877
	消防救急無線共同整備及び 共同指令センター整備	H26.3.24	150,100	0.10	7	R2	60,040,000	30,020,000	30,020,000
	高規格救急自動車 (東部出張所)	H26.3.24	16,700	0.10	7	R2	6,680,000	3,340,000	3,340,000
	消防救急無線共同整備及び 共同指令センター整備	H27.3.24	122,900	0.10	7	R3	73,740,000	24,580,000	49,160,000
	水槽付消防ポンプ自動車 (守谷消防署)	H27.3.24	28,900	0.10	7	R3	17,340,000	5,780,000	11,560,000
	消防救急無線共同整備及び 共同指令センター整備 茨城県防災情報ネットワークシ ステム整備	H28.3.24	130,000	0.10	7	R4	104,000,000	26,000,000	78,000,000
	高規格救急自動車 (守谷消防署)	H28.3.31	19,700	0.20	7	R4	15,760,000	3,940,000	11,820,000
	高規格救急自動車 (守谷署、東部所・一般財源化分)	H28.3.31	19,600	0.20	7	R4	15,680,000	3,920,000	11,760,000
	水槽付消防ポンプ自動車 (谷和原出張所)	H29.3.24	14,500	0.10	7	R5	14,500,000	2,900,000	11,600,000
	水槽付消防ポンプ自動車 (谷和原出張所)	H29.3.24	26,200	0.10	7	R5	26,200,000	5,240,000	20,960,000

区 分	借入 年月日	起債額 (千円)	利率 (年間 (%)	償還 年数 (年)	償還 終了 年度 (年度)	平成30年度末 現在高 (円)	決算年度中増減高		令和元年度末 現在高 (円)
							起債額 (円)	元金償還額 (円)	
高規格救急自動車 (つくばみらい署・一般財源化分)	H30.3.26	10,500	0.10	7	R6	10,500,000		0	10,500,000
高規格救急自動車 (つくばみらい署)	H30.3.26	21,300	0.10	7	R6	21,300,000		0	21,300,000
災害支援自動車(守谷署)	H30.3.26	12,600	0.10	7	R6	12,600,000		0	12,600,000
高規格救急自動車 (南守谷出張所、谷和原出張所)	H31.3.25	25,100	0.10	7	R7	25,100,000		0	25,100,000
高規格救急自動車 (南守谷出張所、谷和原出張所)	H31.3.25	17,000	0.10	7	R7	17,000,000		0	17,000,000
消防庁舎耐震補強(北出張所)	H31.3.25	19,200	0.10	10	R10	19,200,000		0	19,200,000
消防庁舎アスベスト除去 (北出張所)	H31.3.25	8,000	0.10	10	R10	8,000,000		0	8,000,000
高規格救急自動車 (南守谷出張所、谷和原出張所)	H31.3.29	3,700	0.03	7	R7	3,700,000		0	3,700,000
消防庁舎耐震補強(北出張所)	H31.3.29	4,800	0.03	7	R7	4,800,000		0	4,800,000
水槽付消防ポンプ自動車 (絹西・北出張所)	R2.3.24	62,100	0.10	7	R8		62,100,000		62,100,000
水槽付消防ポンプ自動車 (絹西・北出張所)	R2.3.24	4,500	0.10	7	R8		4,500,000		4,500,000
消防ポンプ自動車(守谷署)	R2.3.24	9,900	0.10	7	R8		9,900,000		9,900,000
消防ポンプ自動車(守谷署)	R2.3.24	18,800	0.10	7	R8		18,800,000		18,800,000
高規格救急自動車 (絹西出張所)	R2.3.24	10,600	0.10	7	R8		10,600,000		10,600,000
高規格救急自動車 (絹西出張所)	R2.3.24	17,000	0.10	7	R8		17,000,000		17,000,000
合 計		15,159,100				8,226,762,625	139,100,000	1,094,467,514	7,271,395,111